

不凍急排形空気弁＝流水エネルギーを利用！ ニューエアリス（MFA形）



MFA25
(呼び径25)

MFA50
(呼び径50)

MFA75
(呼び径75)

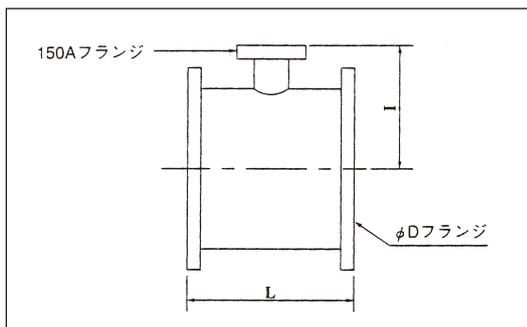
標準仕様

呼び径	25・50・75
使用流体	上水・清水
使用圧力	2種(7.5K)・3種(10K)
使用温度	常温
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・急速排気機能 ・急速吸気機能 ・圧力下排気機能 ・補修弁機能 左回り閉じ（ふたボルトで案内を回転） 全開～全閉の回転数 呼び径25：2回転 呼び径50：3回転 呼び径75：6回転

取付フランジ

- MFA25 規格異形管75A空気弁取付部
- MFA50 規格異形管100A空気弁取付部
- MFA75 150Aフランジに取付

下記T字管を注文により製作いたします。（単位：mm）



呼び径の選定

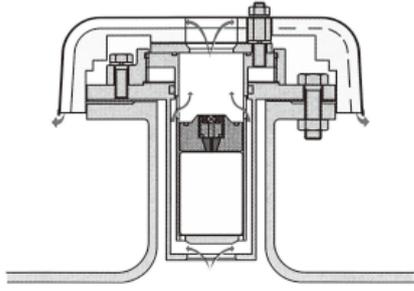
管径	ニューエアリス呼び径	
75	25	
100		
150		
200		
250		
300		
350	50	
400		
450		
500	75	
600		
700		
800		
900		

D	L	I
500	530	450
600	560	500
700	610	550
800	690	600
900	740	650

呼び径 (mm)	形式 SUS304製 (7.5K)	価格	接続口径
25	MFA25	152,000	φ 75
50	MFA50	231,000	φ 100
75	MFA75	306,000	φ 150

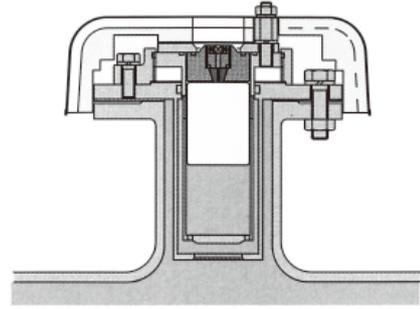
管径によるニューエアリスの呼び径の選定の基本を示しますが、使用条件や設置状況等も考慮のうえ決定下さい。

1 多量排気



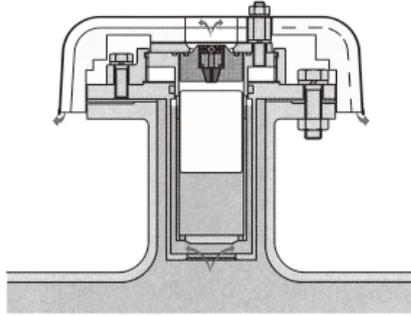
遊動弁体・フロートが共に開放状態で大空気口より排気。

2 通常運転状態



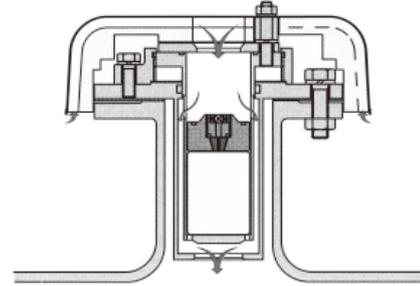
遊動弁体及びフロートが、浮力及び水圧により、大空気口、小空気口をふさぐ。

3 圧力下排気



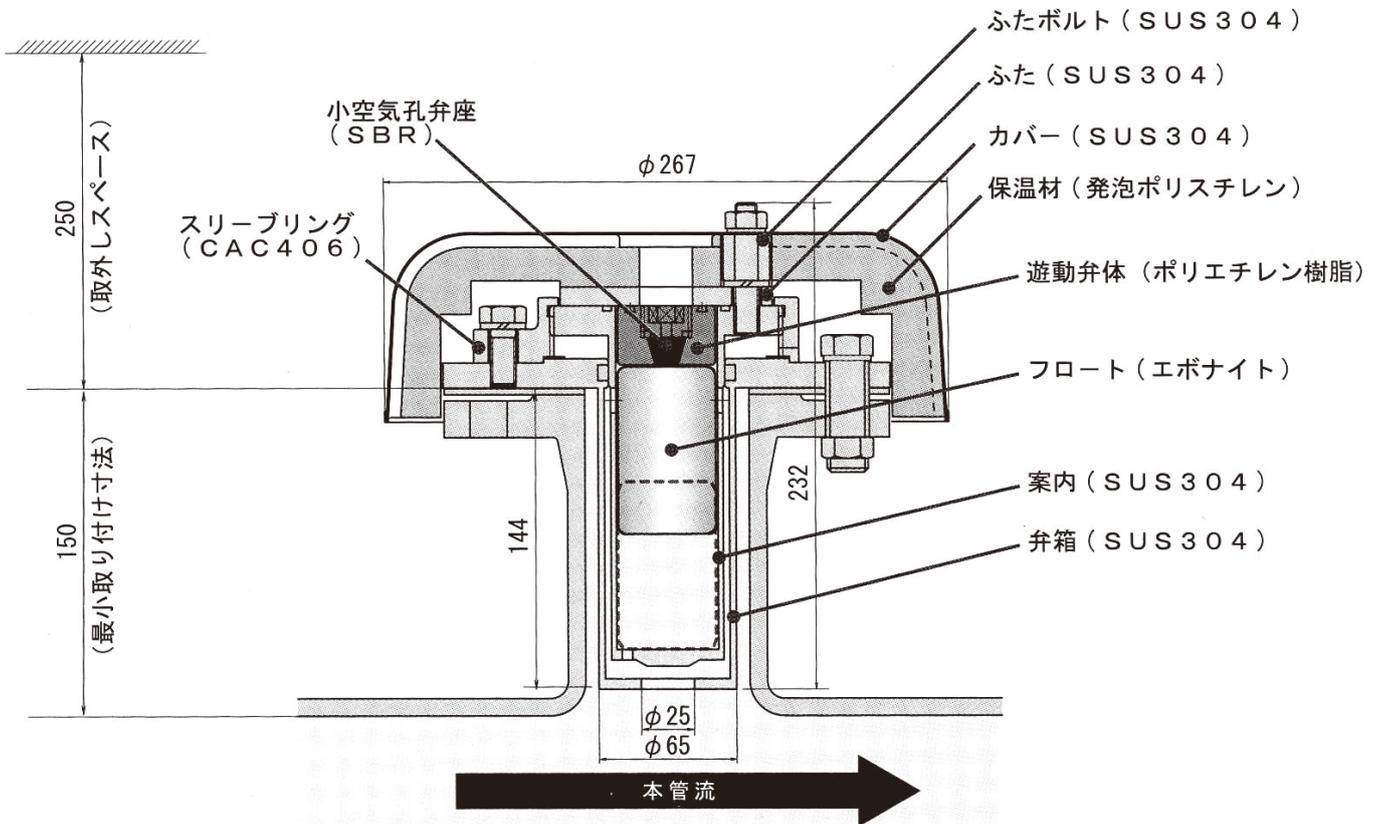
小空気口より、フロートの作動(降下)により排気。

4 吸気



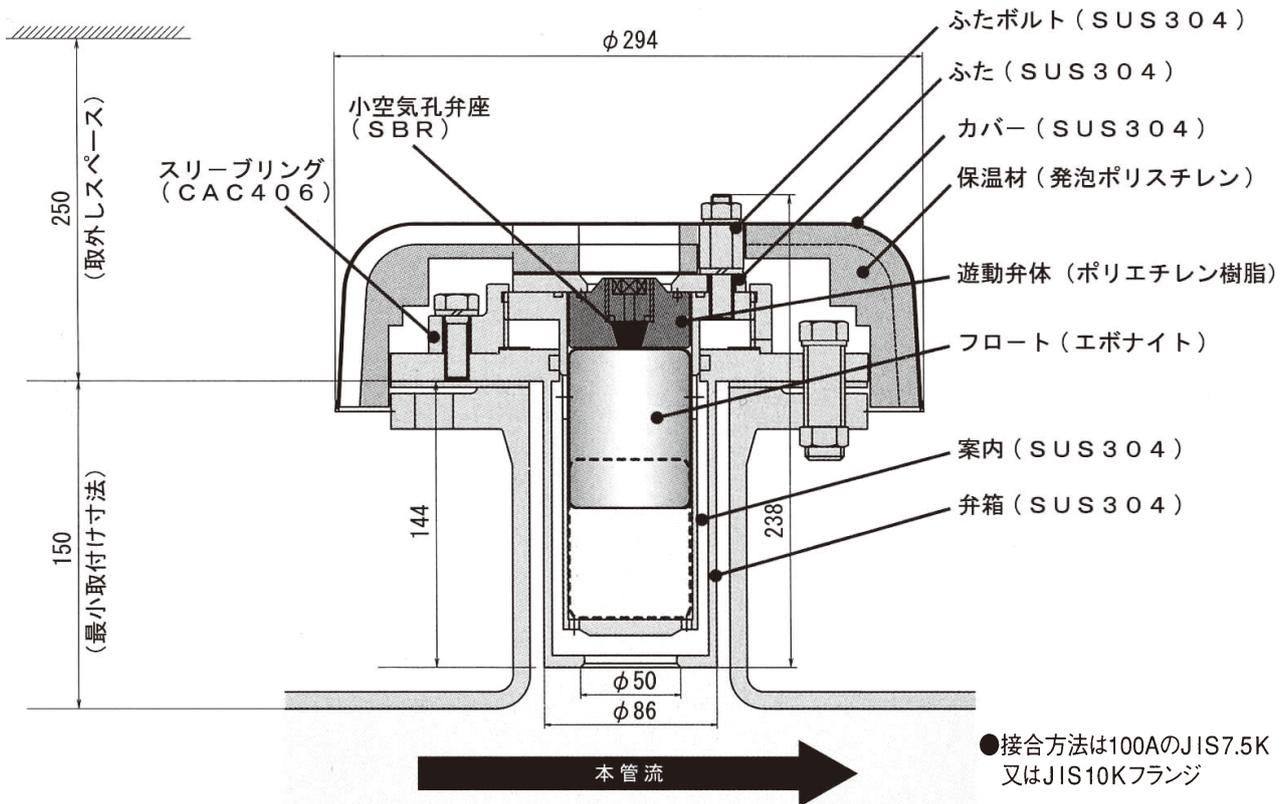
管内負圧時、大空気口より、外気を吸気。

MFA25 仕様図

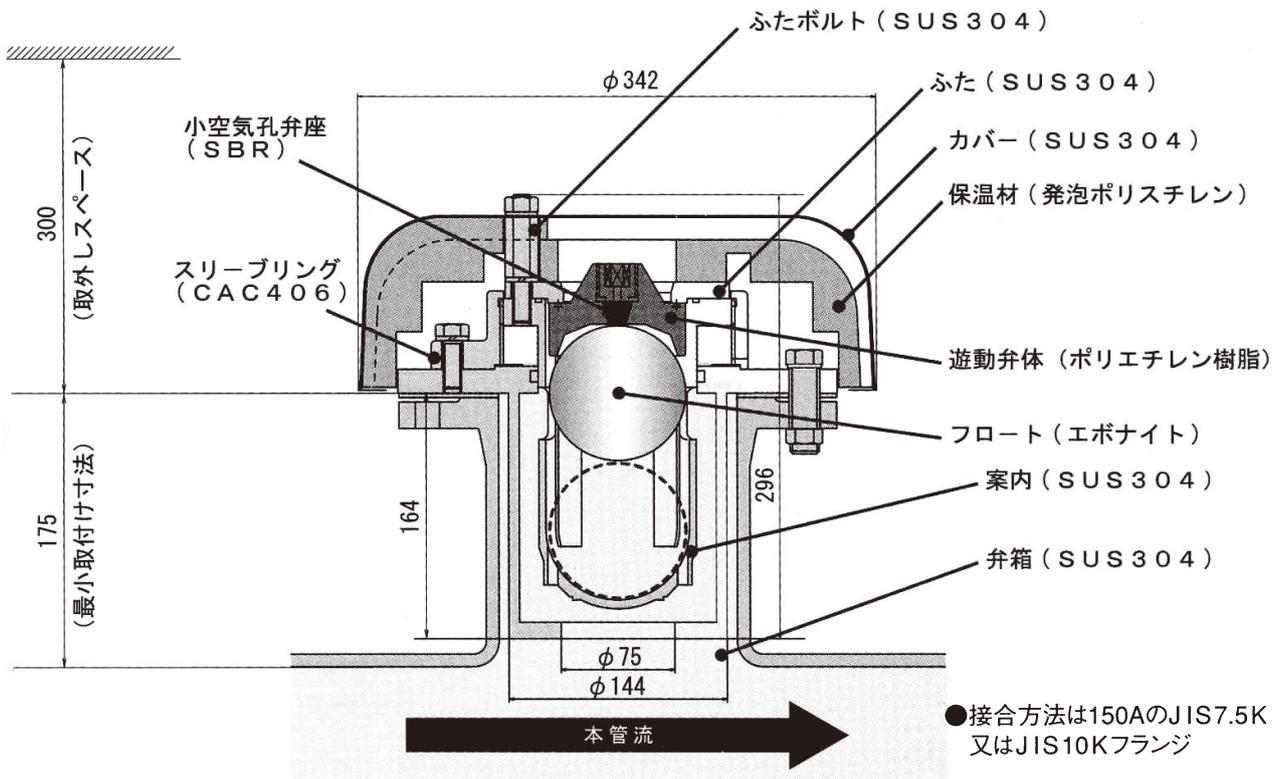


● 接合方法は75AのJIS7.5K
 又はJIS10Kフランジ

MFA50 仕様図



MFA75 仕様図



ニューエアリス分解・清掃手順

- (1) ①六角ナット・座金、②カバーを取り外します（図1）。
- (2) 補修弁を閉じます。図1の様に、二本のふたボルトに③開閉器（棒）を当て、ゆっくりと左に規定回転数回すと、案内が下降し補修弁が閉じます（図2参照）。この時、④ふた上面の赤マークと⑤スリーブリングの赤マークが一致します。
- (3) ⑥ふたボルト・座金、⑦六角ボルト・座金、④ふたを取り外します（図2）。弁内の残留圧力は、図3の様に圧力抜き治具（オプション）を⑥ふたボルトに取付け、ねじ棒を右に回し⑨遊動弁体を押し下げて圧力を抜いて下さい。圧力抜き治具が無い場合は以下の方法でも行うことができますが、できるだけ圧力抜き治具を使用下さい。
細い棒（太さ1mm程度の針金状の物）を空気抜き穴に差し込み、フロート弁体を押し込むか、⑥ふたボルトと⑦六角ボルトを均等に少し緩めることでも残留圧力を抜くことができます。

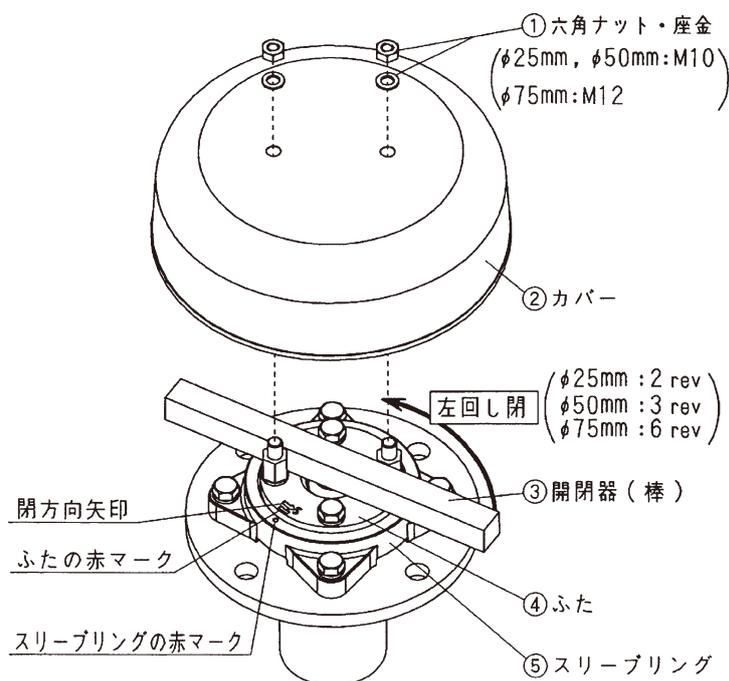


図 1

- (4) ⑨遊動弁体、⑩フロート弁体、⑪Oリングを取り出します (図2)。
 (上から水を入れると遊動弁体・フロート弁体が上昇し取り出し易くなります。または、再度④ふたボルトを取付け、開閉器 (棒) を微少右に回し補修弁をわずかに開とし、その流水によっても遊動弁体・フロート弁体を上昇させることができます)
- (5) ニューエアリスを設置後、通水までの期間が長かった場合は小空気孔止水部・大空気孔止水部に塵埃が堆積し、通水時の漏水の原因となりますので注意下さい。
- (6) 全体をくまなく清掃して下さい。特に小空気孔止水部・大空気孔止水部を水洗い等で十分に清掃して下さい。(4) → (1) の手順で組み立てて下さい。

※上記手順で低圧使用にする場合、⑧大空気孔弁座、⑨遊動弁体 (小空気孔弁座含む) を取替願います。

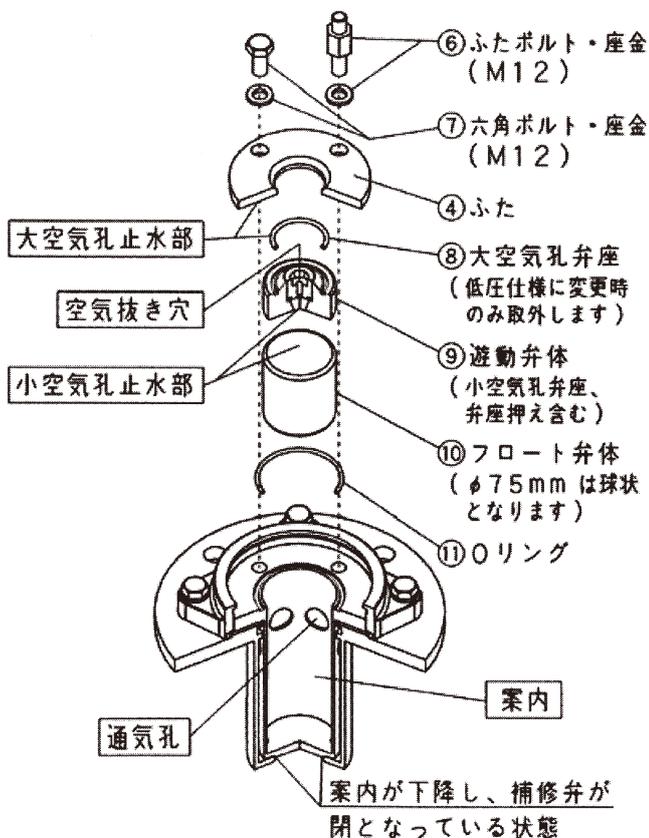


図 2

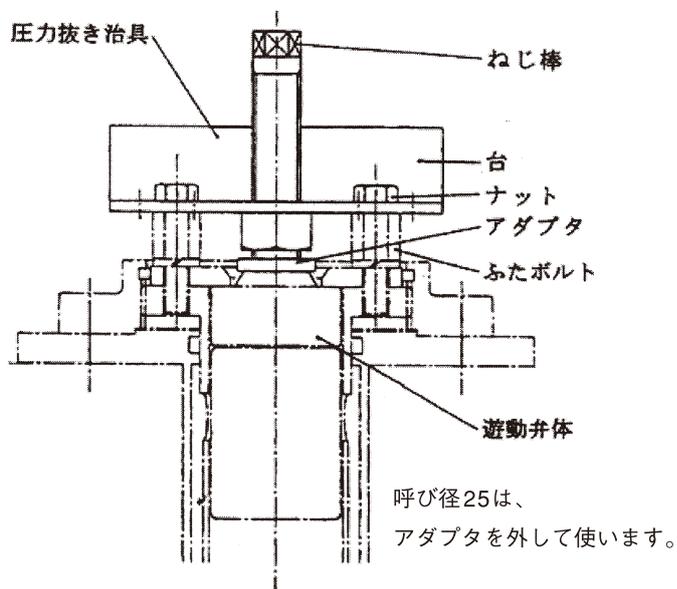


図 3